

## TDB 圏域別景気 DI (2021 年 6 月)

### 5 月から 7 割超の 93 圏域で景況感が改善

～ 緊急事態宣言が解除された大阪府では、域内の圏域すべてで改善～

データソリューション企画部

池田 直紀

TDB 景気動向調査 (2021 年 6 月) の景気 DI は、前月比 1.6 ポイント増の 39.1 となり 2 カ月ぶりに改善した。9 都道府県での緊急事態宣言の解除やワクチン接種の普及などで人流が増加傾向で推移するなど、経済活動は徐々に正常化に向け動き出した。輸出の急増とともに製造業の景況感が上向いたほか、人出が徐々に戻りつつあるなかで小売業や個人向けサービス業など個人消費関連の改善も表れた。本レポートでは、全国 47 都道府県を 130 の圏域に分割し、圏域別の景気 DI や緊急事態宣言が解除された大阪府内の 3 つの圏域に焦点を当てて動向を捉えた。

#### 1. 「佐久・上小」で 50.0 となったほか、3 位から 10 位までがいずれも 40 台後半となった

TDB 景気動向調査 (2021 年 6 月) の景気 DI は前月比 1.6 ポイント増の 39.1 となり、2 カ月ぶりに改善となった。圏域別<sup>1</sup>にみると 130 圏域のうち 7 割を超える 93 圏域 (2021 年 5 月は 34) が改善、32 圏域 (同 91) で悪化となった。

また、景気 DI を 10 ポイント区切りでみると、50 台以上は 2 圏域 (同 1)、40 台は 51 圏域 (同 32)、30 台は 74 圏域 (同 89)、20 台は 3 圏域 (同 8) となった。景気 DI が 40 台以上の圏域が前月より増加し、全体の景況感を押し上げた。

なかでも、「海外向け部品が好調」(自動車駆動・操縦・制動装置製造、佐久・上小) というように『製造』がけん引する長野県上田市などの「佐久・上小」と和歌山県田辺市などの「和歌山南部」がともに 50.0 で最も高くなった。以下、長野県飯田市などの「諏訪・上伊那・飯伊」(48.8)、秋田県能代市などの「秋田県北」(48.5)、高知県南国市などの「高知東部」(46.7) など上位 10 圏域はすべて 40 台後半で並んだ (表 1)。

#### 2. 緊急事態宣言が解除された大阪府、各圏域で 1 ポイント以上の改善がみられた

2021 年 6 月 21 日より緊急事態宣言からまん延防止等重点措置に移行した「大阪」では、抑制されていた人の流れが戻りつつあるなかで、景気 DI は 37.7 と 3 カ月ぶりに改善した。圏域別にみると、「大阪市」は 37.5 (前月 36.4、前月比 1.1 ポイント増)、堺市などの「大阪南部」は 38.5 (同 35.8、同 2.7 ポイント増)、東大阪市などの「大阪北東部」は 37.8 (同 35.2、同 2.6 ポイント増) となった。すべての圏域で 1 ポイント以上改善しており、特に「大阪南部」は 3 ポイント

<sup>1</sup> 企業が実感する地域の景況感により近づけるため、地域の経済的なつながりや交通網などを考慮し全国 47 都道府県を 130 の圏域に分割して、圏域別景気 DI を算出

近く改善がみられた（図1）。

「大阪南部」の企業からは、「新型コロナウイルスのワクチン接種が進んできているため、雰囲気改善されつつあるように感じる」（男子服卸売、大阪南部）や「自転車用チェーンの受注が非常に好調、また産業機械用チェーンの受注も回復している」（動力伝導装置製造、大阪南部）といった声が聞かれた。

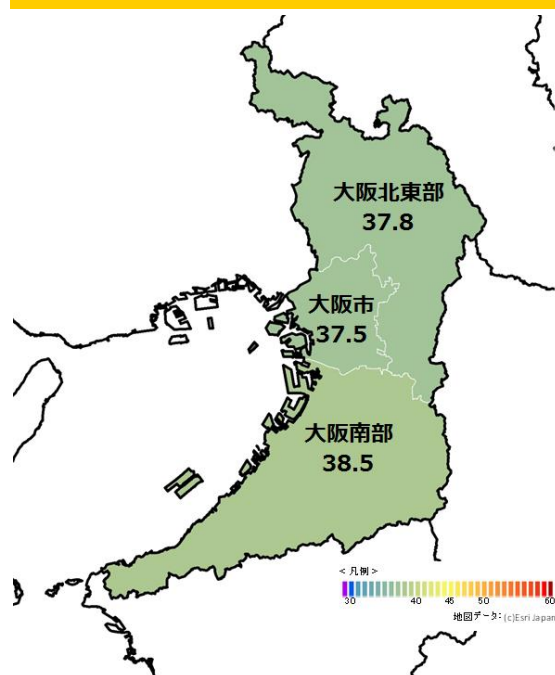
さらに「新型コロナウイルスによる国際物流事情の悪化から材料入手に困難が生じているが、販売は好調。仕事が海外から国内へ回帰していると思われる」（界面活性剤製造、大阪市）や「来季に向けても増産傾向にある」（建設機械・鉦山機械製造、大阪北東部）といった明るい声が、大阪府内の多くの地域からあげられていた。

緊急事態宣言の解除により厳しいながらも3カ月ぶりに改善した「大阪」、いずれの圏域においても大きな改善がみられている。

表1 2021年6月の圏域別景気DI（上位10圏域）

2021年6月調査－上位10圏域－				
順位	都道府県	圏域	主な都市	景気DI
1	長野県	佐久・上小	上田市・佐久市	50.0
1	和歌山県	和歌山南部	田辺市・新宮市	50.0
3	長野県	諏訪・上伊那・飯伊	飯田市・諏訪市	48.8
4	秋田県	秋田県北	能代市・大館市	48.5
5	高知県	高知東部	南国市・室戸市	46.7
6	滋賀県	滋賀北部	彦根市・長浜市	45.7
7	奈良県	奈良中和	橿原市・香芝市	45.6
7	熊本県	県南・天草	八代市・天草市	45.6
9	福島県	会津	会津若松市・喜多方市	45.2
10	佐賀県	佐賀南部	佐賀市・鳥栖市	45.0

図1 2021年6月の大阪府3圏域別の景気DI



## まとめ

本レポートでは、2021年6月のTDB景気動向調査を用いて、全国を130圏域に分割して圏域別の景気DIを算出し、特徴を捉えた。

2021年6月の圏域別の景気DIは7割を超える圏域で前月より改善となった。「佐久・上小」や「和歌山南部」で50.0となったほか、3位から10位の圏域でも40台後半となり好況な圏域が多くなってきた。

また、大阪府内の3圏域をみると、すべての圏域で30台後半となり、厳しいながらも前月から大きく回復していた。地域の景況感には濃淡が表れているなか、「大阪」においては各圏域の景況感ばらつきの少ない水準となっている。

しかし、2021年7月下旬には東京都をはじめとする首都圏や大阪府、沖縄県などで急速に新型コロナウイルスの新規感染者数が増加している。今後各地で先行きに対する警戒感が高まってくると予想される。そのようななかで、都道府県における各圏域の景気の動向を知ることは企業活動を行う上で重要となろう。

### 【 問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク データソリューション企画部 産業データ分析課

池田 直紀

03-5775-3163 keiki@mail.tdb.co.jp

帝国データバンクで毎月実施している TDB 景気動向調査にご協力いただける企業さまは、こちらから登録できます（スマートフォン等をお使いの方は QR コードからも可能です）。

<https://www.tdb-di.com/ent/rent.html>



当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。